

地区	展覧会名	内容 (公財) 圓山記念日本工芸美術	開幕日	閉幕日	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	館蔵名品展「日本の工芸に見るデザイン2」		2022/9/22	2022/12/22						
	館蔵名品展「日本の工芸に見るデザイン3」		2023/1/23	2023/3/23						
日本玩具博物館					10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	世界のクリスマス 6号館で開催	世界各国のクリスマス飾りを通して、各地のクリスマス風景を描き、この行事の意味を探る催し。ツリー飾り・キリスト降誕人形・お菓子和オーナメントなど、50か国から1000点もが一堂に並びます。	2022/11/3	2023/1/22						
	兎の郷土玩具 2号館特別陳列コーナー	日本全国各地で作られた兎の郷土玩具200点が一堂に並びます。	2022/11/12	2023/2/26						
	雛まつり〜江戸から昭和のお雛様 6号館で開催	江戸時代から昭和の時代までに雛人形が展示されます。時代による雛人形の変遷や、江戸と京・大阪の地域による形式や飾り方の違いなどがご覧いただけます。	2023/2/4	2023/4/15						
姫路科学館					10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	第58回「姫路市児童生徒科学作品展」科学工作の部	小中学生が夏休みに取り組んだ科学工作の優秀作品を展示します。	2022/10/1	2022/10/23						
	第58回「姫路市児童生徒科学作品展」調査研究の部	小中学生が夏休みに取り組んだ自由研究の優秀作品を展示します。	2022/10/29	2022/11/20						
	企画展「新春の植物とお正月の科学展」	「新年」や「おめでたい」をキーワードにした植物と、お正月の遊びやおもちゃに隠れた科学を展示します。	2023/1/5	2023/1/22						
	第37回「未来を描く科学絵画展」	児童生徒が、50年から100年後の未来を想像し描いた絵画を展示します。	2023/1/28	2023/2/19						
	第6回生物多様性写真展「ひめじのいきもの」	姫路とその周辺には、どんな生き物がいるのだろうか？ みなさんから寄せられた写真を通じて、播磨地域の生き物の多様性を探ります。	2023/3/11	2023/4/10						
姫路市書写の里・美術工芸館					10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	特別展「2022年播磨工芸美術展」	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作約30点を展示。併せて審査のうえ優秀作品を展示する公募部門を設け、新人工芸作家の育成・発掘を図る。	2022/9/3	2022/10/23						
	所蔵品展1「清水公照すみ・いろ・つち」	当館初代名誉館長で姫路市出身の清水公照（1911-1999）は、奈良東大寺最高位の別当を務め、書や墨画、泥仏（どろぼとけ）と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの中から名品を紹介する。	2022/9/3	2022/10/23						
	秋季特別展「はしもとみお木彫展 ～カタチの生まれるところ」	はしもとみお（1980-）は兵庫県出身の動物彫刻作家。本展では「タチの生まれるところ」をテーマに、木彫作品約500点（含小品）、デッサン約150点を展示紹介する。	2022/10/28	2022/12/24						
	新春特別展「播磨に息づく匠の技」	姫路を中心とした播磨地域では、古くから木や漆を用いて優れた工芸品が数多く作られてきた。本展は播磨地域に縁のある伝統工芸作家6名の作品約30点を展示し、伝統的な技に裏打ちされた木工や漆芸の匠の技を紹介。	2023/1/6	2023/3/5						
	所蔵品展2「清水公照の世界」	1975年に奈良東大寺住職（別当）に就任した清水公照は、各地の窯元・工房を訪ね全国で収集したコレクションは多数に及ぶ。代表的なコレクションを館蔵品から約40点展示し、併せてその交友を紹介する。	2023/1/6	2023/4/9						

兵庫県立歴史博物館				10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」(播磨)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。【会場：赤穂市立歴史博物館】	2022/9/10	2022/10/18					
	巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」(丹波)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。【会場：丹波市立柏原歴史民俗資料館】	2022/11/12	2022/12/18					
	巡回展「“ひょうご五国”歴史文化キャラバン」(摂津)	施設・設備大規模改修にともなう休館中の令和3年度から4年度にかけて、旧五国それぞれの地域の社会教育施設を会場として、五国の歴史と文化を概観する巡回展示を開催します。【会場：兵庫県立兵庫津ミュージアム】	2023/2/4	2023/3/5					
三木美術館				10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	バリへの憧れ 色絵-陶磁器を 彩る色の世界-	岡田三郎助や荻須高德など、バリ留学より影響を受けた画家たちの作品を一堂にご紹介。陶磁器では、十二代から十四代までの酒井田柿右衛門や十三代今泉右衛門など近代作家たちの手掛ける色絵の作品をご紹介します。	2022/8/31	2022/11/27					
	金と銀のきらめき ひとの姿 那波多目功一・ 牧進 花鳥の美	陶磁器では、近現代作家たちの手掛ける金銀彩の作品をご紹介します。絵画では二つの企画展を開催。人物画に焦点を当てた展覧会と、もう一つは日本画家、那波多目功一氏と牧進氏の当館所蔵作品を一堂にご紹介。	2022/11/30	2023/2/26					
	萩焼の造形美 静物画の世界	陶磁器では、近現代の萩焼の作品の数々をご紹介します。また、絵画では静物画の作品をご紹介します。	2023/3/1	2023/5/28					
福崎町立神崎郡歴史民俗資料館				10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	神崎タイムスに みる福崎 (仮)	本展では、神崎郡唯一の郷土新聞である「神崎タイムス」に記された昭和20～40年代の福崎の様子について、関連資料を用いながら紹介します。	2022/10/22	2022/12/4					
福崎町立柳田國男・松岡家記念館				10月	11月	12月	1月	2月	3月
中播磨地区	令和4年度秋季 企画展「柳田國 男の先祖、の 話」	柳田國男の出身である松岡家は、代々医師と学問に通じた家でした。本展では、柳田國男と兄弟たちの「先祖」が残した資料から、柳田國男自身の「先祖の話」を探ります。	2022/10/1	2022/12/4					